

**令和 8 年度**

# **予算編成方針**

**吉野川市**

# 令和 8 年度予算編成方針

## I 国と地方財政の動向

国の月例経済報告（令和 7 年 8 月）によれば、日本経済は「景気は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、緩やかに回復している。」とされている。また、先行きについては、「雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要である。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要がある。」との認識を示している。

こうした状況の中で、政府は「経済財政運営と改革の基本方針 2025（令和 7 年 6 月 13 日閣議決定）」において、「新しい資本主義」の実現を目指し、「賃上げを起点とした成長型経済の実現」や「中長期的に持続可能な経済社会の実現」に取り組むこととしている。

現状として、賃金や物価は上昇を続けており、徳島県においても最低賃金が大幅に引き上げられることが決定されるなど、社会全体への影響は今後も継続することが想定されている。一方で、政治的流動性などを背景に、地方交付税などによる地方財政への財源配分は物価上昇に見合う規模となるかは不透明であり、国全体の動向について注視が必要な状況にある。

## II 吉野川市の財政状況

本市の財政状況は、令和 6 年度決算において、歳入面では普通交付税等の増収があったものの、歳出面では公債費を除く全ての費目において経常的経費が増加したことにより、経常収支比率は 95.4 パーセント（前年度比 1.7 ポイント増）となり、2 年連続で悪化し、財政の硬直化が進んでいる。

財政健全化法に基づく指標についても、将来負担比率において、昨年度はマイナス（△2.7 パーセント）となっていたものが、充当可能基金等の減少により再びプラス（2.0 パーセント）となった。今後も公共施設の長寿命化や修繕等の建設事業が予定されていることから、各指標のさらなる悪化が懸念される。

エネルギー価格の高止まりや物価高騰の長期化、最低賃金の引き上げ等により、経常的経費はさらに増加することが見込まれる一方で、市税をはじめとする歳入の大幅な増収は期待できず、当初予算編成においては、基金の取り崩しに依存する状況が続いている。

このような状況の中、持続可能な市政運営を実現するためには、EBPM<sup>\*1</sup>や PDCA<sup>\*2</sup>の取組を推進し、ワイズスペンディング<sup>\*3</sup>を徹底することにより、限りある財源を適正かつ効果的に配分することが求められる。

※1 エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング。証拠に基づく政策立案。実質的な効果の検証

※2 Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）Action（改善）のプロセスを繰り返し、継続的な業務改善を目指す手法

※3 賢い支出。政策効果が乏しい歳出を徹底して削減し、政策効果の高い歳出に転換するもの

### Ⅲ 予算編成の基本方針

本市が持続可能な発展・成長を続けていくため、引き続き、単年度主義の弊害是正、重点課題への対応など、中長期的な視点に立った取組を進める。

公共施設等の老朽化対策や防災・減災対策、DXの推進など、本市が抱える課題に順次対応していくとともに、地域の将来に関わる少子化対策・こども政策や優先的に取り組むべき重要政策課題については、国や県の動向を注視しながら情報収集を徹底し、効果的な事業実施に努めること。

厳しい財政状況が見込まれる中、新規・拡大事業の実施に当たっては、既存事業の廃止・縮小、経費の節減、国庫補助金の活用等により、事業実施に必要な財源が確保できる場合に予算要求が可能であることを留意すること。EBPMやPDCAの取組を推進し、ワイズスペンディングを徹底することで、より政策効果の高い事業に予算を投入する。

今年度実施される国勢調査において本市の人口が減少することは確実であり、普通交付税の算定に大きな影響を与えることが懸念されている。人口が減少していく状況を現実として捉え、人口規模に見合った事業規模、予算規模への移行は必須である。全職員が今まで以上に「身の丈に合った予算規模とは何か」を強く意識し、予算編成に臨まなければならない。

#### (1) 中長期的な視点に立った予算編成の実行

- 令和8年度当初予算編成においても、持続可能な市政運営を実現するため、将来を見据えた中長期的な視点に立った予算編成を行う。
- 人口が減少していく状況を現実として捉え、人口規模に見合った予算規模への段階的な移行を念頭において予算編成に臨むこと。

#### (2) EBPMやPDCAの取組の推進

- 新規・拡大事業については、既存事業の廃止・縮小による財源捻出を基本とし、財源捻出のないものについては予算要求を認めない。
- 限られた財源を有効活用するため、費用対効果の低い事業の廃止を積極的に検討するとともに、課題の本質を見極め、最も効果的な事業を選択するなど、EBPMやPDCAの取組を推進し、ワイズスペンディングを徹底する。

#### (3) デジタルトランスフォーメーション(DX)の実践

- DXによる業務のデジタル化の取組により構築したシステム等を実際の業務における実行フェーズに移行させ、実践段階でのDX活用を強力的に推進する。
- デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていく。

#### **(4) 賃金や調達価格上昇への対応**

- 昨今の賃金や調達価格等の上昇に伴う影響額については、予算編成過程において適切に反映させることとし、要求に当たって、影響額に関する根拠、積算方法を明らかにすること。
- 調達価格上昇等に対応する財源を確保するため、多額の不用額を生じている事業や見直しが可能な事業については、徹底的な経費の削減に努めること。

#### **(5) 投資的経費は公共施設等の修繕や長寿命化対策を優先**

- 投資的経費は、「造る」から「直す」ことに重点を置くこととし、個別施設計画等に基づく計画的な修繕の実施により長寿命化を推進し、財政負担の平準化及び将来的な負担の軽減を図ることとする。
- 公共施設等の修繕等を行うに当たっては、当該施設の将来的な見通しや時代のニーズを踏まえ、統廃合や複合化、整備の必要性や整備内容を検証し、更新費用の削減・コスト縮減に努めること。

#### **(6) こどもD。まんなか施策の推進**

- 子育て世帯への妊娠から出産、子育てまでの切れ目ない支援を行うことにより、安心してこどもを産み育てることができる環境づくりに取り組む。
- 今年度策定予定の「吉野川市こども計画」に基づき、すべてのこども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会の実現に向け、適宜取り組んでいく。

#### **(7) 防災・減災対策の推進**

- 激甚化・頻発化する自然災害に対応できるよう、防災・減災対策の強化に取り組む。
- 国・県補助金や地方債等の有利な財源を活用できる事業を優先的に実施する。
- 目指すべき防災体制の確立に向け、計画的な整備に努めること。

#### **(8) 歳入増に向けた取組強化を継続**

- ふるさと納税の推進・拡充
- 遊休資産の早期売却、基金運用などによる財産収入の確保
- 国の外郭団体や民間団体の各種助成制度の活用
- 市の保有する資産を活用したネーミングライツや広告事業の全面的展開
- 債権管理条例の適切な運用、未収金削減対策の強化
- 使用料及び手数料の継続的な見直し

#### **(9) その他**

- 行政需要の多様化、複雑化に伴い、複数の部課に関係する事務事業については、事前に入念な協議を行い、結論を得てから予算編成すること。また、事業の見直しが市民生活に大きな影響を及ぼす場合にあっては、政策調整を図ること。
- 決算において多額の不用額が生じている事業は、必ず、その要因を精査し過大要求とならないように適正に見積もること。

- 全ての事務事業について、限られた人員体制と財源のもとで解決を図る視点で取り組むこと。
- 国・県の補助金・負担金を伴う事業については、国等の予算編成の動向を的確に把握するとともに、事業の目的・効果・緊急性・超過負担の有無等を慎重に検証し、真に必要な事業以外は着手しないこととし、必要となる財源の確保に努めること。
- 吉野川市補助金等交付基準（平成31年4月1日施行）において、より適正な補助金等の交付及び執行を図るため統一的な基準を設けており、補助対象経費及び補助率の基準、補助根拠の明確化、透明性の確保、補助事業の終期の設定、補助金交付要綱の制定など、吉野川市補助金交付基準に沿ったものでないと予算要求を認めない。
- 「吉野川市行財政改革プラン2024」に掲げた取組項目について、これまでの取組を十分に分析・検証し、適宜、事業内容の見直し・改善を行うなど、着実に実行すること。
- 本市が所有する公共施設については、「吉野川市公共施設等総合管理計画」の内容を考慮しながら、行政サービスに係る施設コスト及びストック状況を把握し、施設の利活用状況及び効果等を十分に検証した上で、施設の統廃合、集約化・複合化、廃止を検討する。
- 安定的な財政運営のため、積極的に市債の繰上償還を実施し、市債残高を縮減するとともに未償還利子を削減して、将来における公債費負担の軽減を図る。